

## 令和2年度第一学期始業式式辞

校長 澤山 陽一

3年生171名、2年生196名のみなさん、進級おめでとうございます。本日4月8日から、令和2年度がスタートします。3年生にとっては、高校生活のまとめの年であり、自分の進路の実現のために最大限の努力をする年となりますし、2年生は、高校生活にも慣れて、日々の生活の中味を充実させる年となると思います。そして、本日午後からは新入生207名を迎え、新生伊予農がスタートします。

その始まりを歓迎するかのよう、本館玄関口の大きなヤシの木に着生した桜の花が今満開となっています。あの桜は、数年前にヤシの樹上に芽吹き、徐々に大きくなって、今や花を咲かせるまでに立派に成長しました。また、最近、夕暮れになるとムクドリがたくさんヤシの木に集まり、夜を過ごしています。大きなヤシの葉に包まれて、きっと安心して眠れるのだと思います。

ヤシの木の上でムクドリが安心して過ごすように、私は生徒の皆さんに、この伊予農での毎日を安心して過ごしてほしいと思っています。そのためには、皆さん一人一人が共に過ごす仲間のことを思いやり、共感しながら生活することが大切です。われわれ教職員も、この伊予農が、皆さんにとっての大きなヤシの木となれるよう

に懸命に見守っていきますので、生徒の皆さんも御協力よろしくお願ひします。

最後に、本年度も昨年に引き続き、心掛けてほしいことを三点お話しします。

一点目は、自分の命はしっかり自分で守ることです。最近の気候変動は想像を越えています。ゲリラ豪雨の発生や大地震などの可能性も高まっています。いざというときは、他人に頼るのではなく自分で何とかしましょう。自転車で遠距離通学をしているみなさんも多くいます。交通安全を心掛け、事故に遭わない自分を作り上げてください。

二点目は、常に「笑顔と感謝」の気持ちを持って生活することです。笑顔は気持ちをプラス思考に導きます。感謝は、豊かな心を育てます。

三点目は、人の話を集中して聞く力を身に付けることです。人が話をしているときには、話をしている人の方を見てしっかり聞きましょう。

本年度も、この伊予農に笑顔があふれ、感謝の気持ちの表れであるあいさつが数多く飛び交うことを願って、第一学期始業式の式辞とします。